



2026年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 矢島 昌明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也 TEL 075-682-1010
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	44,956	△3.2	2,358	51.1	19,756	516.2	20,086	370.6	13,649	352.4
2025年3月期第1四半期	46,462	△4.8	1,561	△34.2	3,206	17.6	4,268	6.6	3,017	4.6

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	13,663	349.7	16,482	149.8	265.39	264.64
2025年3月期第1四半期	3,038	6.8	6,598	△50.1	55.18	54.95

（注）事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2026年3月期第1四半期	282,438		204,994		202,038	71.5
2025年3月期	272,789		195,164		192,091	70.4

（注）2026年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		50.00	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期（累計）	96,000	6.5	5,300	130.0	22,600	95.7	21,600	68.6	14,470	281.07
通期	187,500	7.8	4,700	—	22,800	584.3	22,600	294.8	14,870	288.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	52,500,000株	2025年3月期	55,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,622,540株	2025年3月期	3,840,910株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	51,481,838株	2025年3月期1Q	55,057,323株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第1四半期の業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	46,462	44,956	△1,506	△3.2%
売上原価	20,187	18,723	△1,464	△7.3%
売上総利益	26,275	26,233	△42	△0.2%
販売費及び一般管理費	24,714	23,875	△839	△3.4%
事業利益	1,561	2,358	+797	+51.1%
その他の収益	1,733	17,452	+15,719	+907.0%
その他の費用	88	54	△34	△38.6%
営業利益	3,206	19,756	+16,550	+516.2%
金融収益	800	680	△120	△15.0%
金融費用	94	253	+159	+169.1%
持分法による投資損益（△は損失）	356	△97	△453	—
税引前四半期利益	4,268	20,086	+15,818	+370.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,038	13,663	+10,625	+349.7%

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）の景況は、国内では、雇用や所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調が続く一方、継続的な物価上昇による消費マインドの下振れ、米国の通商政策に起因する先行きの不透明感などにより、下押しリスクを抱えています。また、海外においても同様に、米国関税措置による駆け込み効果が剥落し、各国の実質賃金や内需の伸びが鈍化するなど、景気減速の兆候が見られます。

このような環境において、当社グループは、引き続き「収益力の改善に向けたビジネスモデル改革」、「「VISION2030」達成に向けた成長戦略」、「ROICマネジメントの導入」、「アセットライト化の推進」に取り組みました。国内においては、需要連動型生産の対象範囲を拡大することによって売上・利益の最大化及び在庫効率の向上に努めるほか、主力のレディースインナーウェアにおけるブランド育成に加え、コンディショニングウェアブランド「CW-X（シーダブリュー・エックス）」において、プロモーション強化による拡販を推し進めました。海外は、米国においては主要ECプラットフォームにおける広告費用の投下、英国においては直営店と自社ECを展開するBravissimo Group Limited（以下、Bravissimo Group）との経営統合など、顧客接点の開発やECを基軸とした成長戦略を実行しました。また、ROICマネジメントについては、各部門のKPIへの分解が完了し、当期から本格運用を開始しています。そのほか、5月に新京都ビルを売却する等、資産効率の向上に取り組みしました。

売上収益については、前期から当期にかけて事業ポートフォリオを見直し、一部の不採算事業を売却した結果、当期への減収影響が生じました。利益面については、不採算事業の対処やBravissimo Groupの買収などに伴う利益構造の変化により売上総利益率が改善しました。なお、営業利益については、前述の新京都ビル等の固定資産売却益（167億62百万円）が寄与しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上収益は449億56百万円（前年同期比3.2%減）、事業利益は23億58百万円（前年同期比51.1%増）、営業利益は197億56百万円（前年同期比516.2%増）、税引前四半期利益は200億86百万円（前年同期比370.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は136億63百万円（前年同期比349.7%増）となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル＝144.59円（前年同期155.88円）、1英ポンド＝193.01円（同196.85円）、1中国元＝19.99円（同21.48円）です。

② 報告セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	46,462	100.0%	44,956	100.0%	△1,506	△3.2%
ワコール事業（国内）	22,237	47.9%	22,161	49.3%	△76	△0.3%
ワコール事業（海外）	18,742	40.3%	18,996	42.2%	+254	+1.4%
ピーチ・ジョン事業	2,565	5.5%	2,783	6.2%	+218	+8.5%
その他	2,918	6.3%	1,016	2.3%	△1,902	△65.2%

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
営業利益（△損失）	3,206	6.9%	19,756	43.9%	+16,550	+516.2%
ワコール事業（国内）	1,089	4.9%	17,353	78.3%	+16,264	—
ワコール事業（海外）	2,101	11.2%	2,024	10.7%	△77	△3.7%
ピーチ・ジョン事業	△7	—	33	1.2%	+40	—
その他	23	0.8%	346	34.1%	+323	—

a. ワコール事業（国内）

当第1四半期連結累計期間は、直営店を中心に実店舗における販売は低調に推移しましたが、ECや「Wing（ウィング）」、ノンワイヤーブラを中心に展開する「GOCOCi（ゴコチ）」など、一部のチャネルや商品群については伸長し、強弱入り混じる商況となりました。

ブランド別では、「Wing」については、前期から引き続き好評の肌着アイテム「シンクロブラトップ」が全体の販売をけん引し、好調に推移しました。また、前期の商品ブランド化に伴い露出や展開店舗が増加した「GOCOCi」や、プロモーションを強化している「CW-X」も、販売が伸長しました。一方、直営店を中心に展開する「AMPHI（アンフィ）」は、閉店影響が大きく、販売が低迷しました。

チャネル別では、実店舗については閉店や来店客数の減少などにより販売が伸び悩んだ一方、ECについては堅調な成長を維持しました。特に他社ECについては、選択しやすいサイズ展開の商品を中心に定番商品に対する顧客レビューの蓄積による販促効果が発現するなど好調に推移しました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は221億61百万円（前年同期比0.3%減）となりました。営業利益は、新京都ビル等の固定資産売却益（167億62百万円）の計上が寄与したことから、173億53百万円（前年同期は10億89百万円の営業利益）と大幅な増益となりました。

b. ワコール事業（海外）

当第1四半期連結累計期間において、ワコールインターナショナル（米国）は、通商政策による先行きの不透明感により消費マインドが低下する中、全体の販売が苦戦し、売上は前年同期を下回りました。チャネル別では、百貨店については得意先の仕入抑制が継続したことに加え、大手得意先の閉店影響も受け、厳しい状況が続きました。ECについては、前期に引き続き主要ECプラットフォームが堅調に伸長する一方で、その他のECチャネルについては、購買率の向上に向けて検索エンジンの最適化及び検索広告施策を実施したものの、販売が伸び悩みました。

ワコールヨーロッパは、昨年買収したBravissimo Groupの売上が寄与し、売上は前年同期を大きく上回りました。一方で、英国の大手得意先がサイバー攻撃を受けたことにより、当該得意先への納品を約2か月間停止しました。また、Bravissimo Groupについては、直営店、自社ECともに堅調に推移しておりましたが、6月に発生した物流倉庫における火災の影響（※1）により、6月下旬以降自社ECにおける出荷をすべて停止しております。

中国ワコールは、消費者の低価格志向の高まりにより、実店舗・ECともに苦戦が続き、売上は前年同期を下回りました。ECの大型セールである618商戦では全体としては苦戦したものの、外部サイトにおける広告施策が奏功しアクセス数や購買率が伸長するなど、一部の施策では成果が得られました。また、ブランド価値の訴求を目的として正価での販売を推し進めたことにより、売上総利益率については改善しました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は189億96百万円（前年同期比1.4%増）となりました。営業利益は20億24百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当第1四半期連結累計期間については、前期に引き続き、国内において、新規顧客の獲得強化に重点を置いたコミュニケーション施策や商品戦略を実行した結果、直営店、自社EC、他社ECの全てのチャネルで販売が好調に推移しました。商品面では、定番商品の「ナイスバディブラ」「盛れるノンワイヤーブラ」の販売が伸長し、販促面では、有名タレントを起用したプロモーションやコラボ企画により、想定以上の集客効果を得られました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は27億83百万円（前年同期比8.5%増）となりました。営業利益は、33百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

d. その他

当該セグメントの売上収益は、七彩、ルシアンとの連結除外が影響し、10億16百万円（前年同期比65.2%減）となりました。一方、連結子会社における一部事業の譲渡益が寄与（※2）し、営業利益は、3億46百万円（前年同期は23百万円の営業利益）と大幅な増益となりました。

※1 2025年6月27日付「英国子会社の物流倉庫における小規模火災発生に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20250627503162>

※2 2024年12月26日付「連結子会社における一部事業の譲渡に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20241226544921>

（参考）主要子会社の売上収益・営業利益（△損失）

（単位：百万円）

売上収益	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	20,959	45.1%	21,031	46.8%	+72	+0.3%
ワコールインターナショナル（米国）	7,939	17.1%	6,626	14.7%	△1,313	△16.5%
ワコールヨーロッパ	6,164	13.3%	8,763	19.5%	+2,599	+42.2%
中国ワコール	2,582	5.6%	1,816	4.0%	△766	△29.7%
ピーチ・ジョン	2,565	5.5%	2,783	6.2%	+218	+8.5%

※外部売上収益のみを記載しています。

（単位：百万円）

営業利益（△損失）	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	1,399	6.7%	15,804	75.1%	+14,405	—
ワコールインターナショナル（米国）	1,030	13.0%	751	11.3%	△279	△27.1%
ワコールヨーロッパ	642	10.4%	768	8.8%	+126	+19.6%
中国ワコール	△83	—	△159	—	△76	—
ピーチ・ジョン	△7	—	33	1.2%	+40	—

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び現金同等物が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して96億49百万円増加し、2,824億38百万円となりました。

負債は、未払法人所得税や繰延税金負債が増加したものの、借入金や営業債務及びその他の債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して1億81百万円減少し、774億44百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、新京都ビルの売却により利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して99億47百万円増加し、2,020億38百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して1.1ポイント増加し、71.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して133億10百万円増加し、367億29百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益136億49百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、21億88百万円の収入（前年同期は11億17百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産等の売却などにより、199億69百万円の収入（前年同期に比し195億54百万円の収入増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得などにより、96億46百万円の支出（前年同期に比し54億26百万円の支出増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2025年5月15日に公表した連結業績予想から変更ありません。

なお、2025年6月21日に当社連結子会社の倉庫において小規模火災が発生しましたが、本件火災による業績への影響は現在精査中です。また、当該損害及び逸失利益については、損害保険を付保していますが、被害額の算定や保険の受取には一定の時間を要する予定です。

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想には本件の影響を織り込んでいませんが、今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表します。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,419	36,729
営業債権及びその他の債権	16,835	17,324
その他の金融資産	2,007	3,069
棚卸資産	50,226	49,634
その他の流動資産	7,488	6,946
流動資産合計	99,975	113,702
非流動資産		
有形固定資産	43,252	35,339
使用権資産	12,316	11,604
のれん	15,243	15,615
無形資産	12,323	11,961
投資不動産	1,634	2,741
持分法で会計処理されている投資	20,064	20,373
その他の金融資産	42,022	45,411
退職給付に係る資産	18,399	18,509
繰延税金資産	6,879	6,417
その他の非流動資産	682	766
非流動資産合計	172,814	168,736
資産合計	272,789	282,438

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	11,915	10,382
リース負債	4,704	4,190
営業債務及びその他の債務	15,778	14,294
その他の金融負債	916	1,083
未払法人所得税	3,019	4,945
その他の流動負債	13,716	13,371
流動負債合計	50,048	48,265
非流動負債		
借入金	2,554	2,616
リース負債	7,924	7,591
退職給付に係る負債	1,621	1,234
繰延税金負債	14,185	16,459
その他の非流動負債	1,293	1,279
非流動負債合計	27,577	29,179
負債合計	77,625	77,444
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	4,311	280
利益剰余金	153,852	154,821
その他の資本の構成要素	38,636	41,362
自己株式	△17,968	△7,685
親会社の所有者に帰属する持分合計	192,091	202,038
非支配持分	3,073	2,956
資本合計	195,164	204,994
負債及び資本合計	272,789	282,438

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	
		%		%
売上収益	46,462	100.0	44,956	100.0
売上原価	△20,187	△43.4	△18,723	△41.7
販売費及び一般管理費	△24,714	△53.2	△23,875	△53.1
その他の収益	1,733	3.7	17,452	38.8
その他の費用	△88	△0.2	△54	△0.1
営業利益	3,206	6.9	19,756	43.9
金融収益	800	1.7	680	1.5
金融費用	△94	△0.2	△253	△0.5
持分法による投資損益 (△は損失)	356	0.8	△97	△0.2
税引前四半期利益	4,268	9.2	20,086	44.7
法人所得税費用	△1,251	△2.7	△6,437	△14.3
四半期利益	3,017	6.5	13,649	30.4
四半期利益の帰属				
親会社の所有者	3,038	6.5	13,663	30.4
非支配持分	△21	△0.0	△14	△0.0
四半期利益	3,017	6.5	13,649	30.4
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)	55.18		265.39	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	54.95		264.64	

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	3,017	13,649
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△986	2,376
確定給付制度の再測定	—	36
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△115	110
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,101	2,522
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,292	144
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	390	167
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	4,682	311
その他の包括利益合計	3,581	2,833
四半期包括利益	6,598	16,482
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,475	16,499
非支配持分	123	△17
四半期包括利益	6,598	16,482

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2024年4月1日残高	13,260	20,550	148,494	46,784	△17,259	211,829	3,313	215,142
四半期利益			3,038			3,038	△21	3,017
その他の包括利益				3,437		3,437	144	3,581
四半期包括利益合計	—	—	3,038	3,437	—	6,475	123	6,598
自己株式の取得					△60	△60		△60
自己株式の消却		△16,011			16,011	—		—
株式報酬取引		△29			28	△1		△1
配当金			△2,753			△2,753	△107	△2,860
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			190	△190		—		—
所有者との取引額合計	—	△16,040	△2,563	△190	15,979	△2,814	△107	△2,921
2024年6月30日残高	13,260	4,510	148,969	50,031	△1,280	215,490	3,329	218,819

当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2025年4月1日残高	13,260	4,311	153,852	38,636	△17,968	192,091	3,073	195,164
四半期利益			13,663			13,663	△14	13,649
その他の包括利益				2,836		2,836	△3	2,833
四半期包括利益合計	—	—	13,663	2,836	—	16,499	△17	16,482
自己株式の取得					△3,969	△3,969		△3,969
自己株式の消却		△3,834	△10,221		14,055	—		—
株式報酬取引		△197			197	0		0
配当金			△2,583			△2,583	△100	△2,683
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			110	△110		—		—
所有者との取引額合計	—	△4,031	△12,694	△110	10,283	△6,552	△100	△6,652
2025年6月30日残高	13,260	280	154,821	41,362	△7,685	202,038	2,956	204,994

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	3,017	13,649
減価償却費及び償却費	3,012	2,866
金融収益	△800	△680
金融費用	94	253
持分法による投資損益 (△は益)	△356	97
法人所得税費用	1,251	6,437
固定資産売却損益 (△は益)	△1,362	△16,739
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	989	△907
棚卸資産の増減額 (△は増加)	523	525
その他の資産の増減額 (△は増加)	△419	△185
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,282	△1,206
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△409	△488
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,703	521
その他	△372	△94
小計	1,183	4,049
利息の受取額	108	88
配当金の受取額	1,314	1,331
利息の支払額	△104	△144
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,618	△3,136
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,117	2,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	29	45
定期預金の預入による支出	△900	△926
有形固定資産等の取得による支出	△493	△1,264
有形固定資産等の売却による収入	1,703	22,386
無形資産の取得による支出	△277	△204
その他の金融資産の取得による支出	△54	△68
その他の金融資産の売却及び償還による収入	397	11
子会社の売却による支出	—	△295
その他	10	284
投資活動によるキャッシュ・フロー	415	19,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増減額 (△は減少)	128	—
長期借入金の返済による支出	—	△1,590
リース負債の返済による支出	△1,428	△1,404
自己株式の取得による支出	△60	△3,969
親会社の所有者への配当金の支払額	△2,753	△2,583
非支配持分への配当金の支払額	△107	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,220	△9,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,101	△496
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△971	1,295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,792	13,310
現金及び現金同等物の期首残高	33,547	23,419
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,755	36,729

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	22,237	18,742	2,565	43,544	2,918	—	46,462
セグメント間の内部売上収益	113	3,338	32	3,483	1,028	△4,511	—
合計	22,350	22,080	2,597	47,027	3,946	△4,511	46,462
セグメント利益（△損失） (注) 2	1,089	2,101	△7	3,183	23	—	3,206

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、七彩事業及びブルシアン事業等を含みます。
2. セグメント利益（△損失）の合計については、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。なお、営業利益から税引前四半期利益までの調整については、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。
3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	22,161	18,996	2,783	43,940	1,016	—	44,956
セグメント間の内部売上収益	150	3,529	50	3,729	533	△4,262	—
合計	22,311	22,525	2,833	47,669	1,549	△4,262	44,956
セグメント利益（注） 2	17,353	2,024	33	19,410	346	—	19,756

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Ai事業等を含みます。
2. セグメント利益の合計については、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。なお、営業利益から税引前四半期利益までの調整については、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。
3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

(2) 地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
日本	27,404	25,707
アジア・オセアニア	5,522	4,221
欧米	13,536	15,028
合計	46,462	44,956

- (注) 1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものです。
2. 欧米のうち、米国における前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の売上収益は、それぞれ9,363百万円及び8,174百万円であり、英国における前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の売上収益は、2,391百万円及び4,954百万円です。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。